

工学部メディア工学科 学位授与の方針

工学部メディア工学科は、教育研究上の目的に基づき、定められた課程を修得し、関連分野の研究テーマに関する卒業論文を作成・提出し、その研究内容を発表し審査を受けて、合格に達した者に対して学士（工学）の学位を授与します。

<学修成果（教育目標）>

1. 工学における基礎知識を有し、社会の要請に応えるために、メディア工学の基本技術を活用できる。
2. メディア技術分野、メディアデザイン分野、メディアアート分野のいずれか 1 つの分野の応用について理解する能力と関連専門分野の基礎力を有し、自立的に応用展開を図る能力を身につけている。
3. 工学の知識と技能を用いて、社会に貢献できるエンジニア基礎力を身につけている。
4. 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。
5. 幅広い視野から物事を捉え、深い思考と的確な判断を下すことのできる統合された知の基盤としての十分な教養を身につけている。
6. メディア技術が社会に及ぼす影響を適切に理解し、職業人・家庭人・地域住人として、それぞれが置かれた立場で、様々な分野の関係者と協同して、地域社会の課題に取り組み、健全で持続可能な社会運営に貢献する意志と能力を身につけている。
7. エネルギー・資源・環境・格差・紛争等の問題に直面するグローバル社会の状況を適切に理解し、異分野・異文化と協同して諸問題に取り組む意志と能力を身につけている。